

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2000年 4月10日

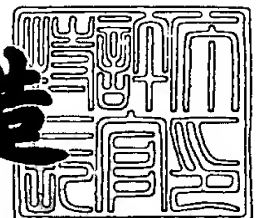
出 願 番 号
Application Number: 特願2000-108673

出 願 人
Applicant(s): トヨタ自動車株式会社

2000年11月17日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3095207

【書類名】 特許願

【整理番号】 TY1-4557

【提出日】 平成12年 4月10日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60
G06F 19/00

【発明の名称】 旅行情報提供サーバおよび情報提供端末

【請求項の数】 10

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社
内

【氏名】 藤原 靖久

【特許出願人】

【識別番号】 000003207

【氏名又は名称】 トヨタ自動車株式会社

【代理人】

【識別番号】 100075258

【弁理士】

【氏名又は名称】 吉田 研二

【電話番号】 0422-21-2340

【選任した代理人】

【識別番号】 100081503

【弁理士】

【氏名又は名称】 金山 敏彦

【電話番号】 0422-21-2340

【選任した代理人】

【識別番号】 100096976

【弁理士】

【氏名又は名称】 石田 純

【電話番号】 0422-21-2340

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008268

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 旅行情報提供サーバおよび情報提供端末

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザ端末から送られてくる旅行を特定するキー情報に基づいて、その旅行についてルート情報を含む旅行情報を端末に提供する旅行情報提供サーバであって、

ユーザ端末に対し、メンバー情報の送信を要求し、

送られてきたメンバー情報により登録されているメンバーであることが確認された場合、

登録されているメンバーについての情報を利用して、提供する旅行情報を作成することを特徴とする旅行情報提供サーバ。

【請求項2】 請求項1に記載のサーバにおいて、

前記登録されているメンバーについての情報は、メンバーの自宅についての情報であり、これをルートの出発地点として利用することを特徴とする旅行情報提供サーバ。

【請求項3】 請求項1に記載のサーバであって、

前記キー情報は、宿泊施設であり、登録されているメンバーについての情報を利用して、情報を提供する宿泊施設を選択することを特徴とする旅行情報提供サーバ。

【請求項4】 請求項1に記載のサーバであって、

前記キー情報は、観光施設であり、登録されているメンバーについての情報を利用して、立ち寄り地点を選択することを特徴とする旅行情報提供サーバ。

【請求項5】 ユーザ端末から送られてくる旅行を特定するキー情報に基づいて、その旅行についてルート情報を含む旅行情報を端末に提供する旅行情報提供サーバであって、

ユーザ端末に対し、メンバー情報の送信を要求し、

送られてきたメンバー情報により登録されているメンバーであることが確認された場合に、本旅行情報提供サーバにおいて、予め登録されている情報提供端末であって、提供するルートに近接する位置に設定されているものについての位置

情報を提供することを特徴とする旅行情報提供サーバ。

【請求項 6】 ユーザ端末から送られてくる旅行を特定するキー情報に基づいて、その旅行についてルート情報を含む旅行情報を端末に提供する旅行情報提供サーバであって、

ユーザ端末に対し、メンバー情報の送信を要求し、

送られてきたメンバー情報により登録されているメンバーであることが確認された場合に、メンバー限定のサービス提供施設であって、提供するルートに近接するものの位置情報を提供することを特徴とする旅行情報提供サーバ。

【請求項 7】 ユーザに対し、メンバー情報の入力进行を要求し、

入力されたメンバー情報が登録されているメンバーであることが確認された場合、

本情報提供端末に近隣についての詳細情報を提供することを特徴とする情報提供端末。

【請求項 8】 目的地の入力に応じて、その目的地までのルート情報を提供する情報提供端末であって、

前記ルート情報の中から案内が必要な分岐点についての分岐点案内図を用意し、用意された分岐点案内図を印刷出力することを特徴とする情報提供端末。

【請求項 9】 請求項 8 に記載の端末であって、

この情報提供端末は、物品の販売店に設置されており、

前記分岐点案内図は、物品販売の際に発行するレシートのプリンタから出力することを特徴とする情報提供端末。

【請求項 10】 請求項 8 に記載の端末であって、

前記プリンタはロール紙プリンタであり、前記分岐点案内図が複数ある場合には、その複数の分岐点案内図をロール紙の長さ方向に順次印刷することを特徴とする情報提供端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ユーザ端末に旅行情報を提供する旅行情報提供サーバおよびユーザ

に旅行情報を提供する情報提供端末に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来より、各種の情報提供サービスが広く普及しており、旅行情報の提供サービスも各種行われている。特に、インターネットなどの通信を利用することで、各種の旅行情報を得ることができる。

【 0 0 0 3 】

また、車載のナビゲーション装置も広く普及してきており、目的地を入力することで、目的地までのルートを探検し、ルートをセットした場合には、走行中に案内が必要な地点で、各種のルート案内が行われる。

【 0 0 0 4 】

さらに、情報提供サーバと通信回線を介し接続し、情報提供サーバからルート情報、施設情報などを得ることができる車載通信端末なども知られている。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

ここで、情報の中でも、その取得作成に労力と費用のかかるものについては、有料で提供したいという要求がある。このような場合、予めメンバーを登録しておき、メンバーであることの確認だけで、情報を提供するシステムが便利である。そして、そのようなメンバーに限定された情報は、メンバーにのみ効率的に提供したい。

【 0 0 0 6 】

一方、メンバー登録を行った場合、メンバーについてはある程度の情報が記憶されている。また、このような登録されているメンバーについては、単に情報提供だけでなく、物品の提供などにおいても特別の便宜を図ることが望まれ、このようなサービスについての情報を効果的に提供したいという要望もある。

【 0 0 0 7 】

さらに、コンビニエンスストア（コンビニという）などに、情報提供端末を設置し、この情報提供端末を利用して情報提供サービスを行えば、コンピュータを所有しないユーザにおいても情報提供サービスを利用することができる。このよ

うな情報提供端末においては、設置位置などの情報をセンターに登録しておくことができる。従って、情報提供端末に固有の情報に基づき効率的なサービスを提供したいという要望もある。

【 0 0 0 8 】

本発明は、上記課題に鑑みなされたものであり、ユーザに対し旅行情報などを効率的に提供することができる旅行情報提供サーバおよび情報提供端末を提供することを目的とする。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、端末から送られてくる旅行を特定するキー情報に基づいて、その旅行についてルート情報を含む旅行情報を端末に提供する旅行情報提供サーバであって、端末に対し、メンバー情報の送信を要求し、送られてきたメンバー情報により登録されているメンバーであることが確認された場合、登録されているメンバーについての情報を利用して、提供する旅行情報を作成することを特徴とする。このように、すでに登録されているメンバーについて、そのメンバーの情報を利用して旅行情報が提供される。そこで、何ら情報がない場合の旅行情報と比べて、そのユーザにより適切な情報を提供することができる。

【 0 0 1 0 】

また、前記登録されているメンバーについての情報は、メンバーの自宅についての情報であり、これをルートの出発地点として利用することが好適である。旅行の出発地点は、自宅である確率が高く、そこを出発地点の候補とすることにより、ユーザの入力の負担を軽減できる。

【 0 0 1 1 】

また、前記キー情報は、宿泊施設であり、登録されているメンバーについての情報を利用して、情報を提供する宿泊施設を選択することが好適である。ユーザにより利用したい宿泊施設についての要求が異なると考えられ、メンバー情報を利用することにより、ユーザの好みを反映した情報提供を行うことができる。

【 0 0 1 2 】

また、前記キー情報は、観光施設であり、登録されているメンバーについての

情報を利用して、立ち寄り地点を選択することが好適である。メンバーの好みに合わせた立ち寄り地点についての情報提供が行える。

【 0 0 1 3 】

また、本発明は、ユーザから送られてくる旅行を特定するキー情報に基づいて、その旅行についてルート情報を含む旅行情報を端末に提供する旅行情報提供サーバであって、端末に対し、メンバー情報の送信を要求し、送られてきたメンバー情報により登録されているメンバーであることが確認された場合、本旅行情報提供サーバにおいて、予め登録されている情報提供端末であって、提供するルートに近接する位置に設定されているものについての位置情報を提供する。情報提供端末では、メンバーに対する各種の情報を提供することができる。そこで、コンビニなどに設置されている情報提供端末であって、ルートに近い端末の位置を教えることで、ユーザは必要となったときに、容易にセンタにアクセスし必要な情報を得ることができる。

【 0 0 1 4 】

また、ユーザ端末から送られてくる旅行を特定するキー情報に基づいて、その旅行についてルート情報を含む旅行情報を端末に提供する旅行情報提供サーバであって、ユーザ端末に対し、メンバー情報の送信を要求し、送られてきたメンバー情報により登録されているメンバーであることが確認された場合、メンバー限定のサービス提供施設であって、提供するルートに近接するものの位置情報を提供することを特徴とする。メンバーに特別のサービスを提供してくれる施設は、メンバーにとって、知りたい情報であり、ユーザの好みにあった情報提供が行える。

【 0 0 1 5 】

また、ユーザに対し、メンバー情報の入力进行を要求し、入力されたメンバー情報が登録されているメンバーであることが確認された場合、本情報提供端末に近隣についての詳細情報を提供することを特徴とする。情報提供端末は、店舗などに固定的に設置されている。このため、その設置位置近隣の情報について、要求される場合が多い。そこで、詳細なデータを記憶しておき、これを提供することで、ユーザの要求に即した情報提供が行える。例えば、近隣の詳細な地図データや

、安売り情報などを提供することができる。

【 0 0 1 6 】

また、目的地の入力に応じて、その目的地までのルート情報を提供する情報提供端末であって、前記ルート情報の中から案内が必要な分岐点についての分岐点案内図を用意し、用意された分岐点案内図を印刷出力することを特徴とする。実際のドライブにおいて、必要なのは、分岐点についての情報であり、必要な情報の印刷物を提供することにより、ユーザはそれを車両に持っていくことができ、随時参照できる。

【 0 0 1 7 】

また、この情報提供端末は、物品の販売店に設置されており、前記分岐点案内図は、物品販売の際に発行するレシートのプリンタから出力することが好適である。これによって、特別なプリンタを用意する必要がなくなる。

【 0 0 1 8 】

また、前記プリンタはロール紙プリンタであり、前記分岐点案内図が複数ある場合には、その複数の分岐点案内図をロール紙の長さ方向に順次印刷することが好適である。これにより、細長のロール紙を利用して、ルートの順に案内交差点を参照できる。

【 0 0 1 9 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態（以下実施形態という）について、図面に基づいて説明する。

【 0 0 2 0 】

図 1 は、本発明の実施形態に係る情報提供サーバ（センタサーバ）および情報提供端末（店舗端末）を含む情報提供システムを示す図である。

【 0 0 2 1 】

センタ 1 0 は、内部にセンタサーバ 1 2 およびデータベースを有しており、このセンタサーバ 1 2 を利用して、情報提供サービス、商品販売などのサービスを行う。また、データベースには、情報データベース 1 4 a と、メンバーデータベース 1 4 b がある。情報データベース 1 4 a には、旅行情報や、提供商品情報な

ど各種の情報が記憶されており、メンバーデータベース 1 4 b には、予め登録されたメンバーについての情報が記憶されている。メンバー情報は、例えば名前、自宅住所、年齢、性別、クレジットカードの番号などであり、これら情報がユーザ毎に付与された会員番号とともに記憶される。

【 0 0 2 2 】

センタ 1 0 のセンタサーバ 1 2 には、通信ネットワーク 1 6 が接続されており、この通信ネットワーク 1 6 を介し、各種情報のやりとりを行う。例えば、外部の情報源からの情報を定期的に取り入れ、情報データベース 1 4 a の記憶内容を更新する。また、情報提供サーバ 1 2 は、必要が生じた時に、随時他の情報センタなどに通信ネットワーク 1 6 を介しアクセスし必要なデータを取得する。

【 0 0 2 3 】

さらに、通信ネットワーク 1 6 には、複数のユーザ端末 1 8 が接続されている。このユーザ端末 1 8 は、ユーザが所有するコンピュータであり、自宅、会社等から通信回線 1 6 を介し、センタサーバ 1 2 に接続する。そして、ユーザは、このユーザ端末 1 8 を利用して、センタサーバ 1 2 による各種サービスを利用することができる。また、ユーザ端末 1 8 は、車載端末や携帯端末であってもよい。

【 0 0 2 4 】

また、通信ネットワーク 1 6 には、複数の店舗端末 2 0 が接続されている。この店舗端末 2 0 は、コンビニなどの店舗に設置されるコンピュータであり、コンビニ等を訪れたユーザによって操作される。ユーザは、この店舗端末 2 0 を操作することによって、センタサーバ 1 2 から商品の購入や情報の入手など各種サービスを受けることができる。

【 0 0 2 5 】

ここで、このシステムでは、ユーザについてのメンバー登録を行い、多くのサービスは、登録を受けたメンバーのみに限定して提供する。この登録は、ユーザ端末 1 8 や店舗端末 2 0 を利用して行う。例えば、ユーザが名前、自宅住所、年齢、性別、クレジットカードの番号などのユーザ情報を入力することで、センタサーバ 1 2 は、そのユーザにユニークな会員番号を付与して、これを通知するとともに、ユーザ情報を会員番号に関連づけてメンバーデータベース 1 4 b に記憶

する。

【 0 0 2 6 】

センタ 1 0 は、上述のように、各種の商品の販売等を行うが、ここでは旅行ルートについて情報提供について説明する。

【 0 0 2 7 】

まず、ユーザは、ユーザ端末 1 8 や店舗端末 2 0 を操作して、センタサーバ 1 2 と接続する。このユーザ端末 1 8 を利用する場合には、通信ネットワーク 1 6 は、例えばインターネットであり、通常公衆電話回線、プロバイダを介するインターネットを介してセンタサーバ 1 2 と接続する。一方、店舗端末 2 0 の場合には、専用回線を利用することが好適である。

【 0 0 2 8 】

この場合におけるセンタサーバ 1 2 による処理について、図 2 に基づいて説明する。センタサーバ 1 2 は、端末が接続されたかを判定し（S 1 1）、接続された場合には、会員番号の入力があったかを判定する（S 1 2）。この会員番号の入力はセンタサーバ 1 2 が要求してもよいし、端末（ユーザ端末 1 8 または店舗端末 2 0）が、要求してもよい。会員番号の入力があった場合には、センタサーバ 1 2 がこの会員番号を取り込み、メンバーデータベース 1 4 b の記憶内容から、ユーザが予め登録されたメンバーか否かを判定する（S 1 3）。

【 0 0 2 9 】

この判定結果において、ユーザがメンバーであった場合には、利用サービスのメニューを提示しユーザの選択を待つ。本例の場合には、旅行ルートの提供であるため、旅行情報が選択されたかを判定し、旅行情報を選択された場合には、自動車による目的地までのルート検索、公共交通手段を利用したの旅行方法の検索、目的別の目的地の検索などのメニューを表示し、ユーザの入力を待つ。そして、目的地までのルート検索が選択されたかを判定し（S 1 4）、YES の場合には、目的地の入力を求める。この場合、地名、市外局番、郵便番号、地図などから目的地の入力が可能になっている。

【 0 0 3 0 】

ユーザにより目的地が入力されたかを判定し（S 1 5）、入力された場合には

、出発地点が自宅かどうかを問い合わせる（S16）。すなわち、メンバーデータベース14bには、メンバー情報として、自宅住所が登録されている。そこで、この自宅住所を旅行の起点として、自動的にセットすることができる。そして、旅行の出発地点が自宅である場合が多いため、入力操作の簡略化が図れる。

【0031】

そして、自宅を出発地点とするという問い合わせの返事が、YESであった場合には、起点を自宅に設定し（S17）、この自宅を起点とした目的地までのルート検索を行い（S18）、検索結果のルートを表示させる（S19）。

【0032】

この検索結果の表示は、地図上に出発地点から目的地までの全ルートを表示する全ルート表示の他、要部表示などが可能になっている。この要部表示は、右左折などを行う案内交差点についての拡大表示を順次行うとともに、案内交差点を複数個表示する画面などからなる。

【0033】

また、S16の判定において、NOであった場合には起点の入力を求め、入力があったかを判定する（S20）。そして、入力があった場合には、入力された地点に起点を設定し（S21）、S18のルート検索を行う。

【0034】

さらに、センタ10のメンバーデータベース14bには、会員についての過去の購入記録や、好みのジャンルなどのデータが記憶されている場合も多い。この場合には、センタサーバ12は、これら記憶されているメンバーのデータに基づいて、目的地周辺やルート周辺におけるメンバーが興味を示しそうな施設や、観光スポットを検索する。

【0035】

図3に示すように、まず、センタサーバ12は、メンバーデータベース14bからメンバーの嗜好についての情報を取り込む（S31）。そして、ルート周辺において、取り込んだ嗜好に該当しそうな施設があるかを判定する（S32）。この判定でYESの場合には、その情報を表示するか否かを問い合わせ（S33）、返答がYESであった場合には、その情報を表示する（S34）。

【0036】

例えば、絵画に興味があることが登録されていた場合には、目的地やルート上の美術館を検索し、「目的地周辺およびルートの周辺に*（数）つ美術館が存在します。この情報を表示しますか？」等いうメッセージを出力させる。そして、YESが入力された場合には、これらの詳細情報を出力させることが好適である。

【0037】

なお、上述のルート表示の前に、メンバーの嗜好に合わせた情報提供を行うかを問い合わせてもよい。

【0038】

なお、センタ10に登録されているメンバーについて、特別の割引料金を適用してくれる各種の店（物品の販売店や、レストラン等）の紹介も行うことが好適である。

【0039】

さらに、宿泊希望があった場合には、宿泊施設についての情報を提供する。この場合にも、予め登録されているメンバーについての情報に基づいて、メンバーの好みを考慮した宿泊施設案内を行う。例えば、過去に選択した施設がデラックスレベルであった場合には、案内するものもデラックスレベルのものを第1の候補とし、エコノミーレベルのものを下位のレベルとする。そして、要求があった場合には、上位の候補から順に情報を提供する。

【0040】

例えば、図4に示すように、目的地等における宿泊施設についての要求があるかを判定し（S41）、YESであった場合には、メンバーデータベース14bからメンバーの嗜好を取り込む（S42）。そして、目的地近辺の宿泊施設を探索し（S43）、探索結果の宿泊施設情報を表示する（S44）。探索および表は、メンバー嗜好を考慮したものとする。

【0041】

さらに、ルート表示に合わせて、「レストラン」、「ガソリン」、「トイレ」、「コンビニ」等の施設検索ボタンを表示させ、これらについて、操作があった

場合には、目的地およびルート周辺のこれら施設についての情報を提供する。対象とする施設は、旅行時間を考慮して、選択することも好ましい。特に、出発の時間などの入力をさせ、この時間に基づいて、食事時間と思われる時間に通過すると思われる地域のレストラン情報などを提供することもできる。

【0042】

また、本実施形態においては、各所にセンタ10のサービス利用を行える店舗端末20が設置されている。このため、ルート表示に合わせて、この店舗端末20の設置場所についての案内を行う。

【0043】

ユーザが、例えば旅行の途中に案内した店舗に訪れ、店舗端末20を操作した場合には、図5に示すように、まず会員番号の入力を求め、会員番号が入力された場合には、その会員番号からそのユーザがメンバーか否かを判定する（S51）。そして、メンバーについて、旅行中か否かを判定する（S52）。そして、旅行中であった場合には、そのユーザのデータを読み出し、その旅行についてのデータを読み出し、操作されている店舗端末20の位置を確認する。そして、ルート上であった場合には、そこまで来たこと記憶するとともに、ユーザに対し、この先の旅行についてのガイダンスを出力する（S53）。

【0044】

例えば、当初の計画通りであれば、その旨を伝え、この後の所要時間などについて知らせる。一方、計画と異なれば、そのことについて、ユーザに知らせる。例えば、ルートが異なっていること、時間が異なっていることおよびその影響などについて知らせる。

【0045】

また、店舗端末20は、その設置位置周辺に特有の情報を自己で記憶している。これは、ローカルなイベントなどの情報であり、センタ10において保持していなくてもよいような情報である。さらに、設置位置の近辺については、非常に詳細な地図情報も記憶している。

【0046】

そこで、図6に示すように、メンバーか否かを判定し（S61）、メンバーで

あった場合には、近隣の詳細情報が必要かを問い合わせ（S 6 2）、Y E Sであれば、詳細情報を提供する（S 6 3）。

【 0 0 4 7 】

例えば、ユーザの店舗端末 2 0 の操作に応じて、イベント情報が必要か否かを問い合わせ、Y E Sであれば、近所のパン屋の焼きたてパンが入手できること、花火が 1 0 分後から始まること、近くの羊羹屋でおいしい羊羹が入手できることなどの情報を提供する。さらに、詳細な地図に基づいて、目的地までの詳細ルートを示す。さらに、要部の写真や、動画などを示すことも好適である。

【 0 0 4 8 】

例えば、図 7 に示すように、メンバーかどうかを判定し（S 7 1）、メンバーであった場合には、メンバー限定のサービス情報があるかどうかを判定し（S 7 2）、あった場合には、これを表示してユーザに提供する（S 7 3）。

【 0 0 4 9 】

また、センタ 1 0 に登録されているメンバーについて、特別の割引料金を適用してくれる各種の店（物品の販売店や、レストラン等）であって、操作されている店舗端末 2 0 が設定されている地域のものの紹介を行うことも好適である。地域が限定されているため、ユーザにとって利用しやすいものの情報を容易に提供することができる。

【 0 0 5 0 】

また、旅行の途中か否かに拘わらず、店舗端末 2 0 により旅行情報を得ることもできる。この場合の動作は、上述のユーザ端末 1 8 を利用した場合と基本的には、同様である。しかし、店舗端末 2 0 においては、領収書発行用のプリンタを利用してルート案内図などを出力することが好適である。すなわち、センタ 1 0 と接続して、目的地等を入力することによって、センタ 1 0 において、経路探索を行い、探索結果が店舗端末 2 0 に送られてくる。

【 0 0 5 1 】

そして、この経路をディスプレイに表示するが、ユーザからの指示があった場合には、ルート案内図を印刷出力する。レシート発行用のプリンタは、通常細長のロール紙を使用する。そこで、全ルートについての非常に簡単な地図と、上述

した案内交差点などの要所についての拡大案内図（ラリーマップという）をレシート用紙に順次縦方向に並べて印刷する。特に、目的地までのルート順番に案内交差点の図を印刷することで、ユーザが順に案内図を参照できる。また、いらなくなった部分は、破棄することもできる。図毎にミシン目などを入れて、分離しやすくすることも好適である。

【 0 0 5 2 】

例えば、検索結果について、図 8 に示すような、全ルート表示を行う。このときに、ラリーマップ表示を行うことのボタンを表示しておく。そして、このボタンが操作された場合には、図 9 に示すようなルート上の案内交差点の拡大図を順次表示したものを印刷出力する。

【 0 0 5 3 】

このラリーマップの各図は、進行方向が上に向いており、進行方向のガイド表示の他、目的地までの距離や、目印になるランドマーク（例えば銀行、郵便局など）の表示がしてある。

【 0 0 5 4 】

これによって、ユーザは、この印刷結果を持ち帰り、これを見ながら旅行をすることができる。特に、店舗端末においては、商品の販売に対応してレシートを発行することが好適である。これによって、図 9 に示すように細長のロール紙の長手方向に沿って、複数の右左折する案内交差点の地図を順次印刷することができる。

【 0 0 5 5 】

このようにレシート発行のための印刷装置により、このラリーマップを印刷することで、店舗端末 2 0 においては、地図印刷用の印刷装置を特別に持つ必要がないため、安価なシステムとすることができる。また、通常の会計用のレジのプリンタを利用することも可能である。

【 0 0 5 6 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、登録されているメンバーについての情報を利用して、提供する旅行情報を作成する。このため、何ら情報がない場合の

旅行情報と比べて、そのユーザにより適切な情報を提供することができる。

【 0 0 5 7 】

また、メンバーの自宅をルートの出発地点として利用することが好適であり、これによって、ユーザの入力の負担を軽減できる。

【 0 0 5 8 】

また、ユーザにより利用したい宿泊施設についての要求が異なると考えられ、メンバー情報を利用することにより、ユーザの好みを反映した情報提供を行うことができる。

【 0 0 5 9 】

また、登録されているメンバーについての情報を利用して、立ち寄り地点を選択することにより、メンバーの好みに合わせた立ち寄り地点についての情報提供が行える。

【 0 0 6 0 】

また、予め登録されている情報提供端末であって、提供するルートに近接する位置に設定されているものについての位置情報を提供することを特徴とする。情報提供端末では、メンバーに対する各種の情報を提供することができる。そこで、コンビニなどに設置されている情報提供端末であって、ルートに近い端末の位置を教えることで、ユーザは必要となったときに、容易にセンタにアクセスし必要な情報を得ることができる。

【 0 0 6 1 】

また、メンバー限定のサービス提供施設であって、提供するルートに近接するものの位置情報を提供することを特徴とする。メンバーに特別のサービスを提供してくれる施設は、メンバーにとって、知りたい情報であり、ユーザの好みにあった情報提供が行える。

【 0 0 6 2 】

また、ユーザに対し、メンバー情報の入力を要求し、入力されたメンバー情報が登録されているメンバーであることが確認された場合、本情報提供端末に近隣についての詳細情報を提供することが好適である。情報提供端末は、店舗などに固定的に設置されている。このため、その設置位置近隣の情報について、要求さ

れる場合が多い。そこで、詳細なデータを記憶しておき、これを提供することで、ユーザの要求に即した情報提供が行える。例えば、近隣の詳細な地図データや、安売り情報などを提供することができる。

【 0 0 6 3 】

また、目的地の入力に応じて、その目的地までのルート情報を提供する情報提供端末であって、前記ルート情報の中から案内が必要な分岐点についての分岐点案内図を用意し、用意された分岐点案内図を印刷出力することが好適である。実際のドライブにおいて、必要なのは、分岐点についての情報であり、必要な情報の印刷物を提供することにより、ユーザはそれを車両に持っていくことができ、随時参照できる。

【 0 0 6 4 】

また、分岐点案内図は、物品販売の際に発行するレシートのプリンタから出力することが好適であり、またプリンタはロール紙プリンタであり、前記分岐点案内図が複数ある場合には、その複数の分岐点案内図をロール紙の長さ方向に順次印刷することが好適である。これにより、細長のロール紙を利用して、ルートの順に案内交差点を参照できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 実施形態の構成を示すブロック図である。

【図 2】 起点を決定したときのルート検索を示すフローチャートである。

【図 3】 メンバーの嗜好を考慮した施設情報の提供を示すフローチャートである。

【図 4】 メンバーの嗜好を考慮した宿泊施設情報の提供を示すフローチャートである。

【図 5】 旅行中の処理を示すフローチャートである。

【図 6】 近隣情報の提供を示すフローチャートである。

【図 7】 メンバー限定のサービス情報の提供を示すフローチャートである。

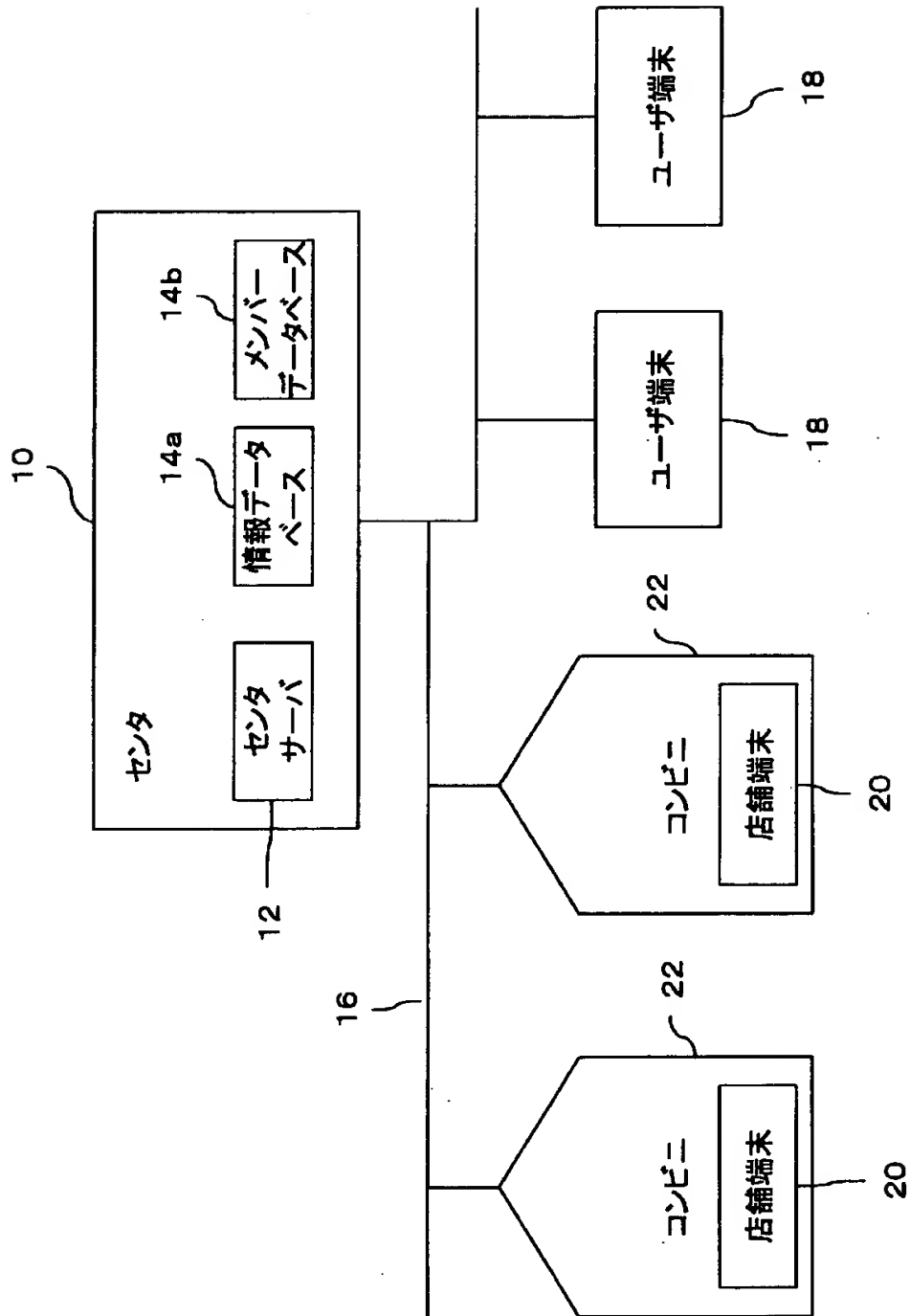
【図 8】 全ルート表示の例を示す図である。

【図 9】 ラリーマップの印刷例を示す図である。

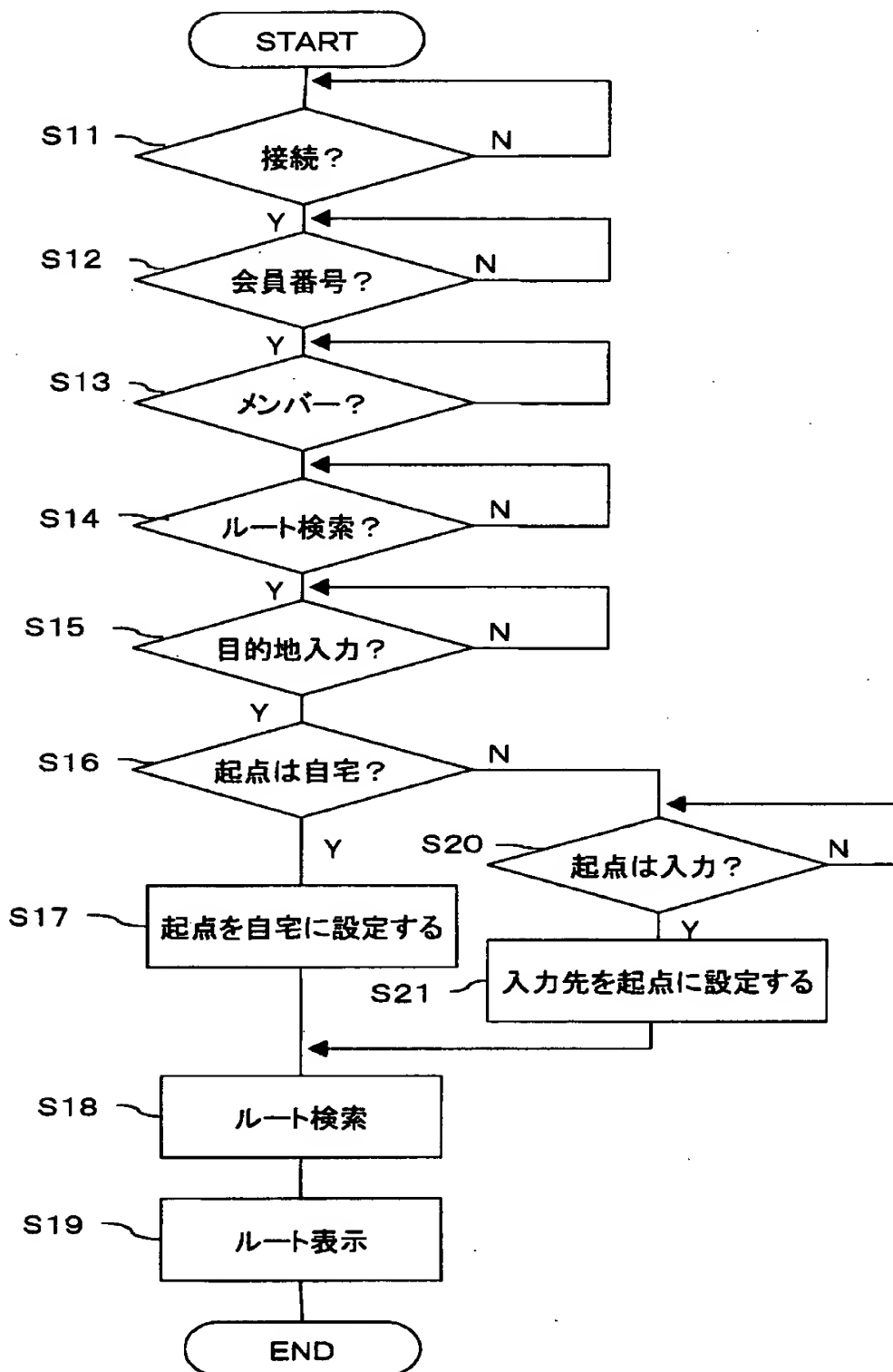
【符号の説明】

1 0 センタ、1 2 センタサーバ、1 4 a 情報データベース、1 4 b メンバーデータベース、1 6 通信回線、1 8 ユーザ端末、2 0 店舗端末。

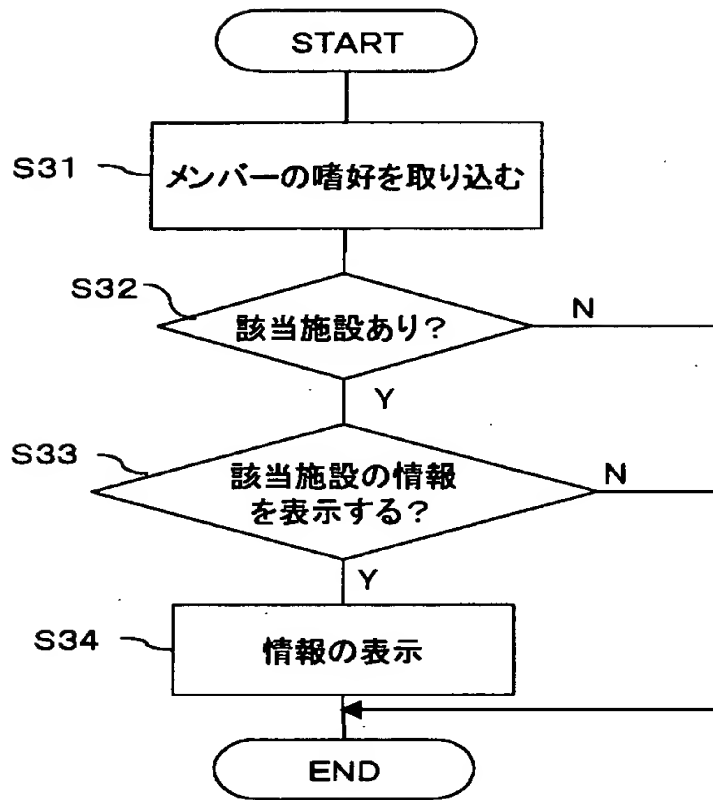
【書類名】 図面
【図 1】



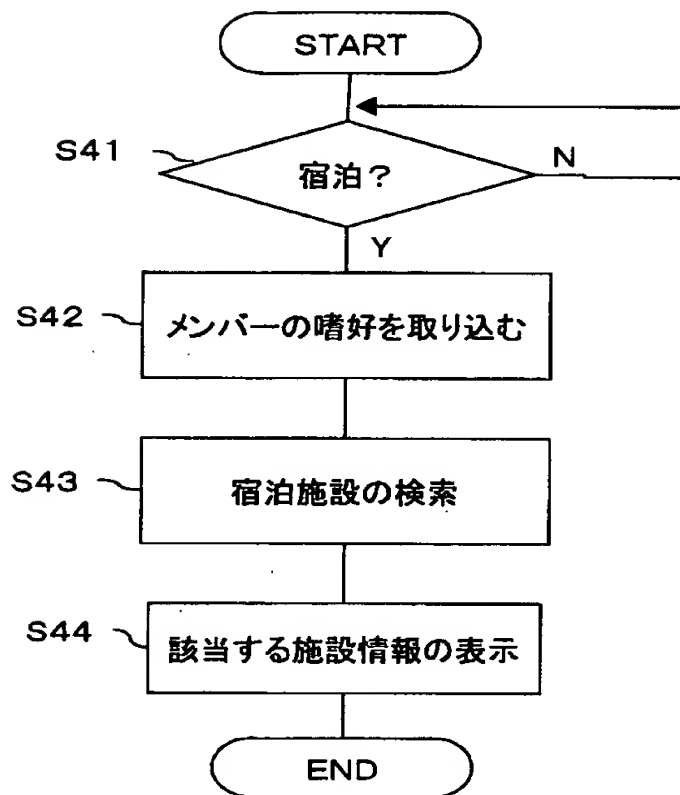
【図2】



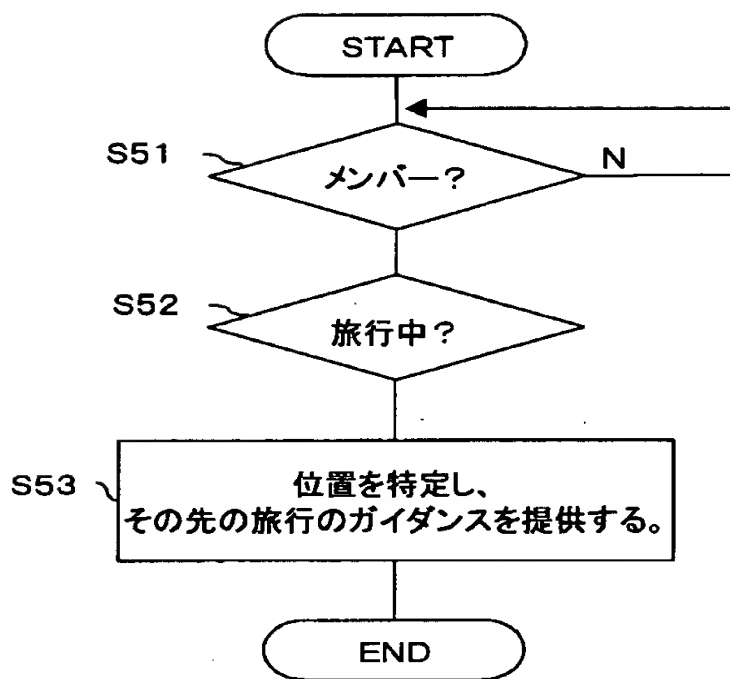
【図 3】



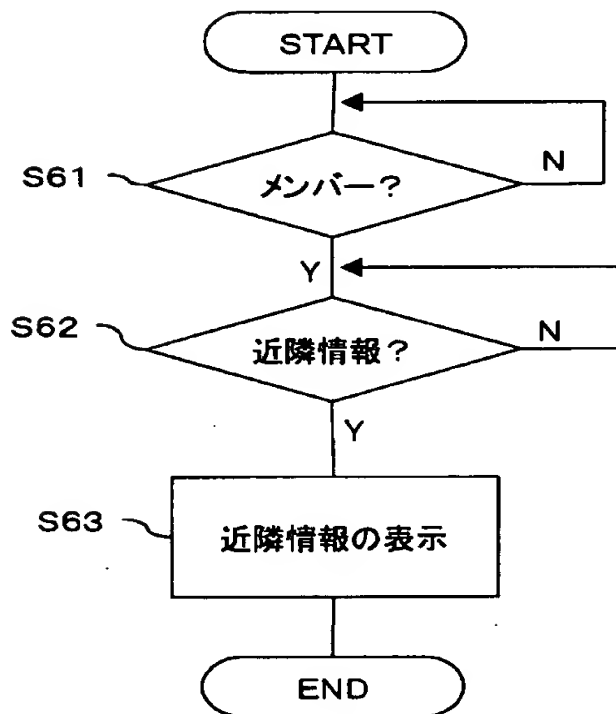
【図 4】



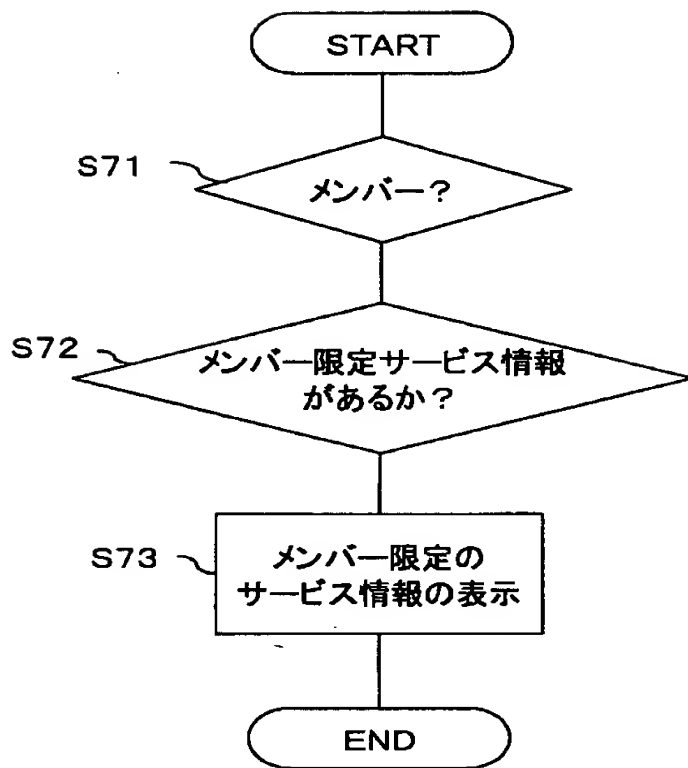
【図 5】



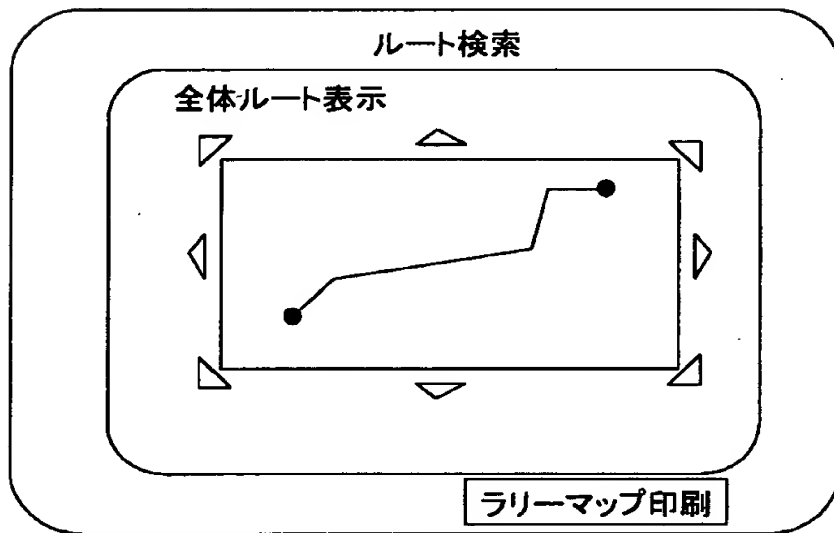
【図 6】



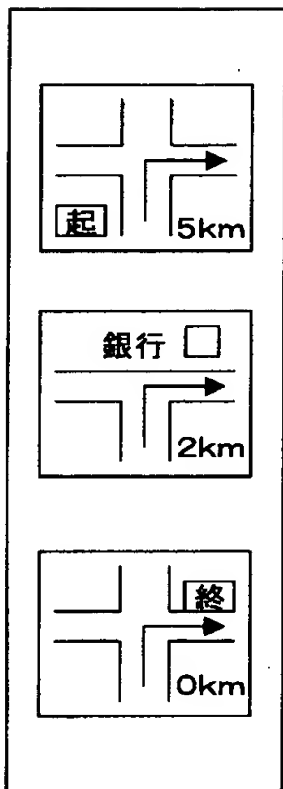
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 旅行情報を効果的に提供する。

【解決手段】 ルート検索に起点が自宅かを問い合わせ（S 1 6）、YESであればそのまま自宅を起点に設定する（S 1 7）。予め登録されているメンバーの情報を利用してルート検索などを効率的に行うことができる。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003207]

1. 変更年月日	1990年 8月27日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛知県豊田市トヨタ町1番地
氏 名	トヨタ自動車株式会社